

# 阿久志コーチの指導日記 「男のコーチ 女のコーチ」

2月16日（土） 目標級 新規～うみ5級 指導人数 10人／12人

レッスンが半分過ぎた頃、ともちゃんがお母さんに手を引かれてやってきた。「いやだー！」と泣き叫ぶのを強引にお母さんから引き離しプールサイドに座らせたけど、ちょっと目を離すとすぐに逃げ出す。仕方がないので、他の子はサブのようこコーチに任せて、ぼくはともちゃんをマンツーマンでお相手した。

幼児用プールに連れて行き、おもちゃで遊んだり、浮島に乗せたりしたけれどなかなかご機嫌が直らない。時々泣きやむときがあり、その時すかさずメインプールに連れて行くところけど、また泣き出してギャラリーのお母さんを探す。この繰り返しだ。いやー、手こずった。

でも最後のあいさつだけはみんなと合流してやらせた。ふと、ようこコーチに預けていた子たちを見ると、いつになく柔らかい表情をしている。笑顔なのだ。え！？ようこコーチにはこんな顔見せるの？

彼女、学生アルバイトだけれどいつもニコニコしていて子供に優しいものな。でも、とてもまねできない。男って損だなあ。



阿久志

確かに、男性コーチは男ということだけで子供から恐がられたりすることがあるよね。その点、私たち女性はやり易いかもしれません。でもね、坂上コーチを見てごらん。男性なのに小さな子供に人気あるよね。だから、恐がられるかどうかは男か女かだけではないように思います。

阿久志君が一生懸命に指導しているのは良くわかります。でも、ときどき「顔が怖い」ことに気づいてる？そんな時、子供たちには近寄りにくい感じを与えているのかもしれないね。水慣れ班では、もっと肩の力を抜いて、心にスマイルを作って子供に接することが必要ではないでしょうか。

でも、さすがだと思うのは、阿久志君の前では子供たちがちゃんとしていること。その点、バイトのようこコーチは優しすぎて子供たちが好き勝手にしています。子供たちから恐がられることは必ずしも悪いことではありませんよ。

ガンバレ！！応援してるよ。

辺手蘭

